

一年を過ごして



企画開発部長

晶山 著

熊本に赴任して来て一年になります
が、最近いくらか熊本のがわかりか
けて来たところだ。

よく知人などから熊本名物は何かと問
われますが、私は、自分の体験に照らし
て「夏の暑さ」「水の旨さ」「肥後モッ
コス」と答えることにしています。

『夏の暑さ』——話には聞いていまし
たが、想像以上の暑さです。引越して
来たのが七月の下旬で、梅雨どきだつた
せいもあるが、「蒸し暑い」というのが
第一印象でした。二年目の夏になりまし
たが、今年には平年に比べ二週間も早く梅
雨が明けて、連日の猛暑です。熊本の人
が「今年は暑かばい！」とおっしゃる、
他所者には一入こたえます。

『水の旨さ』——これは天下一品で
す。時々上京して東京の水を飲みます
が、熊本の水を飲んだ口にはその不味さ
たるや歴然です。おそらく、水を使う飲
み物、例えば、お茶、コーヒーの類も吟
味して飲めば、相当違うのだろうと思
います。それもその筈で、上水道を一〇〇
パーセント地下水で賄うという贅沢がで
きるの全国でも熊本市ぐらいでしょ

う。これにはもう一つ大きなメリットが
あります。それは、少々雨が降らなくて
もビクともしないということ、先頃の
福岡市の湯水騒ぎで図らずもそれを教え
られたところです。この立派な資源の恩
恵を将来にわたって享受するためには、
今後、地下水の適正利用とその涵養を真
剣に考える必要があると思います。

『肥後モッコス』——他所者には分か
りにくいもの一つですが、この一年間
熊本各界の方々にお会いしているうち
に一応のイメージが出来上がりました。
それは、正義感と反骨と寡黙と照れとを
ミキサーにかけて渾然一体にしたような
ものではないかと思っています。一
寸取っ付きにくい、相手が気に入っても
素振りに出さない、口が重く、人を誉め
もしないが、悪口も言わない、頼めば身
を挺してやってくれる、まあそんな調子
ではないかと思えます。

ところで、日本人の好みを評して「巨
人、大鷲、卵焼き」というそうでありま
す。誰が言い出したか知りませんが、日
本人の強者崇拜、或は付和雷同的気質を
皮肉を込めて表現したのだろうと思いま

す。こういう私も大の巨人ファンです
が、言われて見ると成程と思わないでも
ありません。例えば、団体では大きな力
を出す、一人になると何もできないと
よく言われます。また、報道機関が「集
中豪雨」と評し、欧米諸国からは「黄禍
」と言われて懸望を買った自動車、電気
製品等の節度を忘れた輸出攻勢など然り
であります。

『肥後モッコス』にとっては、強者
崇拜、付和雷同などというのはきわめて
軽蔑すべき風潮なのだろうと思えます。
もし、日本国民が一方に傾斜しやすい性
向を持っているとするならば、「肥後モ
ッコス」はそれにブレーキを掛ける一種
の「自動安定装置」のようなものであり
、極めて貴重な存在であると言わなけ
ればなりません。ただ、惜しむらくは、
熊本にも真の「肥後モッコス」が少なく
なりつつあるということがあります。

さて、仕事の話が最後になって恐縮で
すが、企画開発部における当面の重要課
題は、第一に「第三次全国総合開発計画
の対応策」、第二に「基幹交通体系の整
備」、第三に「水資源の開発」であります。
まず、「三全総の対応策」については
は、この計画の柱である「地方定住構
想」を本県がいかに消化して行くにつ
いて目下模索しているところでありま
す。いづれにしてもその成否は就業機会
の確保と生活環境の整備にかかってお

り、工業の地方分散、公共投資の優先配
分等国の政策に負うところが大きくあり、
思い切った政策を期待するところです。
「基幹交通体系の整備」は、県政の伸
長を図るうえでも、また定住構想を推進
するうえでも不可欠の事業であり、新幹
線、高速道、空港等の整備を更に促進し
て行きたいと思えます。特に新幹線につ
いては、昨今景気対策の面からも早期着
工の気運が出て来ており、この機を逃さ
ずなんとか来年度着工にこぎつけたとい
考えています。

「水資源の開発」については、前述の
地下水対策等もありますが、当面の重要
課題ということになると、何と云っても
川辺川ダム及び竜門ダムの建設です。ど
ちらも十年越しの懸案事項で、早い解決
を迫られています。竜門ダムについては
既に地元の合意が出来上がっており、ま
た先の六月県議会で「竜門ダム建設基
本計画」について同意をいただいたこと
で、県内に関する限りいつでも着工で
きる態勢にあります。ただ、このダムは
集水面積が狭く、必要な水量を県内のみ
で確保できないため、県境を越えて大分
県の津江川から導水する計画であり、こ
れが片ずかないことには着上できません。
とにかく、当面この分水問題の解決に全
力をあげるつもりです。関係各位のご協
力を切にお願い申し上げる次第でありま
す。



人吉バイパスが開通

人吉市内の交通混雑を解消するため県が建設していた国道 219 号線の人吉バイパスが完成し、7月26日開通式が行われた。

このバイパスは総延長 3.378 キロ、総工費 16 億 2 千万円、道幅は 16 メートル、両側に歩道が設置され、ヤマツバキ 381 本、イヌツゲ 14,500 本が植えてある。また、球磨川に架かる橋は、人吉城の別名『織月城』にちなんで『織月大橋』と命名された。